



# ひらひだより

No.10. 2020. 12. 23

人と出会い、ものと出会い・・・

## 【音楽】

コロナ禍で希望保育中であった春のある日、音が来ると書いて『ニライ』と読む楽器に出会いました。素敵な名前！すぐに惚れました。昔から沖縄に伝わる“ニライカナイ”と言う言葉から、あの BEGIN が命名。「海の向こうの桃源郷から幸せがやってくる」という言い伝えのように、“この楽器を通して、より多くの人に幸せを運びたい！”との熱い想いと、「生活と音楽の距離がもっと近くなったら世の中もっと楽しくなるかも！」「車の中にボンと積んで、どこでも気楽に弾けたらいいな！」「でも、楽器って結構難しいんだよなあ～」と呟かれた人々の声に応じて出来たと言います。日本で生まれた楽器。すべて手作り。指一本で弾ける。お年寄りや楽器が初めての人でも挑戦できる。誰でも自由に音楽を楽しめるように作られた、そんな音楽。とてもかわいい顔をしています。

夏休み明け、この音楽を子どもたちに紹介しました。身近になりやすい楽器とはいえ、弾ける努力をせずに曲を奏することは出来ません。子どもたちを前に、上手になるのを見届けてほしいと伝えた私。自分への激励です。そして、『♪ピッポロピッピ』を。上手ではないけれど、想いはいっぱい込めました。元気な子どもたちの声が響きます。この時、指揮者佐渡裕氏の言葉「一つの音楽を通して、バラバラの人間が共感し、ひとつになる！」をふと思い出しました。子どもたちの毎朝の様子そのものです。いろいろな想いを抱えて登園してくるけれど、気がつけば、森でひとつになる。そんなびっぴの朝はとても大事な時間のひとつです。びっぴの生活の中で、これは子どもたちのココロに届いたかしら？どうかしら？どのように感じたかしら？などと思うこともあります。それこそ不問に付すべきこと。

音楽でも、絵本でも、集団遊びでも、自由あそびでも、なんでもそう！！それらを通して時かかれた種を、あらゆる環境の中で子どもたち自身が成長させ、さらには、かっこよく変身させる、それがいつかどこかでいろんな形で現れる、そして、それこそがひとりひとりのココロを支えてくれる『力』となっていく・・・言葉を換えれば、自分の中に『柱』をたてる！って言うことでしょうか？　なんて、今風な言い方！

## 【藁草履で走ってる！！】

息を切らして山を登ったり走ったり、思いもよらぬ嫌な出来事に遭遇したり、突拍子もない

息子の行動に一喜一憂したり・・・と、日々の生活の中でマイナスイメージの「なんで～」と言いたくなるようなことに出会うと、私はいつの頃からか、おまじないのように「何のために？」と自分に問いかけるようになっていました。つい、声に出して言うので、「あっ！私、また言ってる！」とその度に気づくのですが、次の瞬間にこのマイナスイメージがプラスに転じる・・・という不思議なことが起こります。

昨年秋、台風直後の埼玉県越生町のトレイルに私は参加しました。累積標高 1443m、30 km のコースにエントリー。ところが、台風の影響でコース変更。予定を上回る 35 km を走ることになりました。「なんで～？」ですよ。“リタイアする？・・・”と、言葉が頭を過ぎります。が、ここで「何のために？」が登場。私はおまじないを掛けられたのか？ その直後には、スタートラインに立っていました。台風のために悪路もたくさん。そんな中、ふと私の前に、藁草履で走るおじさん。「どこから？」「ここは、初めて？」などと他愛もない会話をしながら、ぐちゃぐちゃした坂道を暫く一緒に走りました。勿論、そのおじさんのペースには全くもってついて行けない私は、結局おじさんと離れてしまいましたが、私はこのおじさんの藁草履姿がずっと頭から離れず、ゴール直後、(50 km コースに出ている) 夫に「聞いてよ～！」とおじさんのことをつらつらと語りました。自分の想いを形にして走っていたおじさんが、とてつもなくカッコよかったのです。私にとっては、このおじさんに会うためのトレイル・・・でした。

また、とても美しい竹藪コースでのこと。こともあろうか、伐採後の竹に躓き、派手に転んだ私。一緒に走るランナー仲間からの「大丈夫？」「ケガは？」等の声の力で、折れかけた私のココロは復活しました。たくさんの人との出会いが、日常に起こる私の「何のために？」の答えを導き出すヒントとなって、今でも私のココロを支えてってくれています。どこにでも、自分に力を与える人っているんですね。それを改めて知りました。だから、いろんな世界に行ってみたいし、かなり無茶してるけど、完走がやっとだけど、走っています。

## 【いろんな形のゴールから】

新型コロナで世界中の日常が一変する少し前、2020年2月には、三重県大紀町でシーサイドトレイルに参加していました。累積標高 1700m、23 km のコースです。距離としては、それほど長くないのですが、熊野灘とリアス式海岸や海跡湖を眺めながら、四つの山を登って下る激しいコース・・・満足した練習はできないだろうと初めから思っていたのですが、なぜ私はエントリーしたのかしら？・・・これまでのトレイルでの出会いが心地良かったこと、それが今の力になっていることに合わせ、今回は、絶景に出会い！海岸沿いを走る！ことによるココロのお掃除を、私は強く求めていました。私のペースに合わせて一緒に走ってくれた夫のおかげで、なんとか制限時間内に完走。

その完走に気持ちよく浸っていると、遠くからランナーがやってきます。とても体の大きな男性です。制限時間はとうに過ぎています。時々辛そうにその歩みを止めながらも、ゴールラインを目指して再び走り始めるその姿、ラスト 1 km の一部始終を見守りました。目が離せませ



## 《 1 月のお知らせ 》

びっぴの森が少しずつ少しずつ、クリスマスの気配になってきました。11 月末から始まったクリスマスの準備…クリスマスの絵本や歌や表現活動やプレゼント作りをしながら、クリスマスの想いが少しずつ、膨らんでいきました。

「まんげつのよるまでまちなさい」(マーガレットワイズブラウン作、ガースウイリアム絵、松岡享子訳)という絵本があります。大きな木の根かたにある居心地の好い穴の中で、早く夜を見たいというアライグマの坊やに、母さんは何度も「今は駄目、満月になるまで待ちなさい」と繰り返します。坊やは、頭の上でなる夜の風の音、闇の中で小枝がボキボキ立てる音、フクロウのホーホーという声を聴きながら、想像を膨らませて満月になるのを待ちます。やがて新月になり、半月に成長し、満月になるまでの間、夜がどんなものか、どれぐらい暗いのか、母さんの優しい歌を膝の上で聞きながら、その日を期待して待ちます。そして遂にまぢきれなくなった夜、坊やはきっぱり「母さん、ぼく、これから森へ夜を見に行くからね。いいでしょ?」すると母さんは答えます。「もし、おまえが夜を見たいなら、さあ、行っといで! だって今夜は満月だもの!」このタイミングが実に絶妙です。

クリスマスを待つというのも、プレゼントをもらうだけでなく、こういう期待と想像が必要なのだと思います。子どもたちに、待つことの素晴らしさを経験させてあげたいものです。待つことで、想像の「根」をしっかり根付かせるためにも…。今学期もたくさんのご協力をありがとうございました。あたたかいクリスマスを、そして佳い新年をお迎えください。

: 眞弓

### ○1月の予定

- 6 (水) スタッフ作業・ミーティング
- 7 (木) 三学期始業日
  - ※木曜日ですがどんぐりグループも一緒です。
  - ※おにぎり持参でお願いいたします。
  - ※全員、14 時降園です。
- 8 (金) くり・おおくり地震体験
  - ※びっぴに集合してから、地震体験車が待つ杉瓜公民館に向かいます。
- 9 (土) スタッフ研修会 (講師: 汐見俊幸さん、in 安曇野市)
- 10 (日) びっぴの森整備日
- 15 (金) えりんこたいそう (メインホール)、避難引取り訓練

- 16 (土) ぼろびっぴ
- 18 (月) 芸術の時間
- 19 (火) ちょこミック (メインホール)
- 23 (土) ぼろびっぴ (親子体験会 in びっぴの森)
  - ※親子体験会は春に小学生になるおおくりさん親子の皆さまと、在園児の兄弟で一度もぼろびっぴに在籍したことがない親子の皆さまが対象です。
  - ※9 時集合 (朝の集まり、それぞれの遊び・お餅つき・説明会、ランチ、それぞれの遊び、帰りの集まり)
  - ※大人はランチ後解散、子どもは 16 時 30 分解散
  - ※参加費: 子ども 500 円 (ランチおやつ代)、大人 300 円 (ランチ代)
  - ※持ち物: 食器セット、温かい飲み物、いつものびっぴ荷物

- 26 (火) ちょこミック (メインホール)
- 29 (金) えりんこたいそう (メインホール)、びっぴだより配布
- 30 (土) 長野県野外保育連盟冬の研究会 (メインホール)

○1 月、2 月は (火) (金) が 14 時降園になります。

○おおきくみのカリキュラムでお伝えすることができましたら、黒板にてお知らせいたします。

### ○1月のぼっけ開室日

- 7 (木)、8 (金)、13 (水)、14 (木)、15 (金)、18 (月)、20 (水)、21 (木)、22 (金)、25 (月)、27 (水)、28 (木)、29 (金)
- ※ミニぼっけは、1 月・2 月の (火) (金) が 14 時降園になりますのでありません。3 月は再開します。